

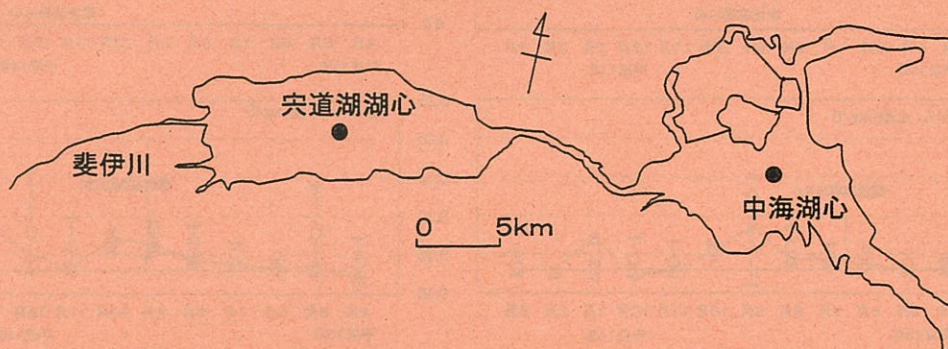
輝水だより (第50号)

[お問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課

湖沼環境係(電話:0852-22-5562)

平成14年2月の宍道湖・中海の水質状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

1. 調査地点



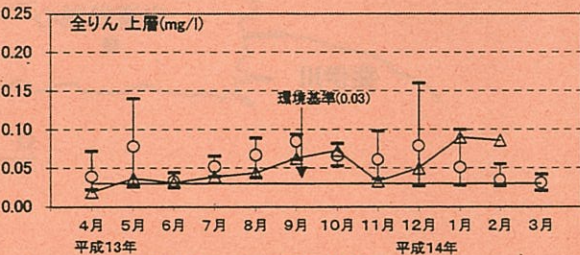
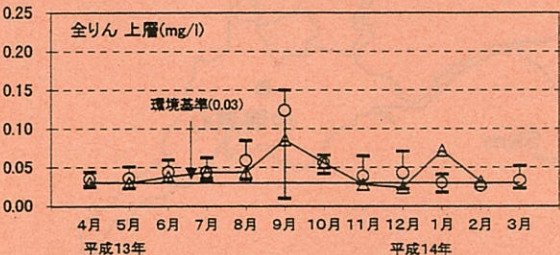
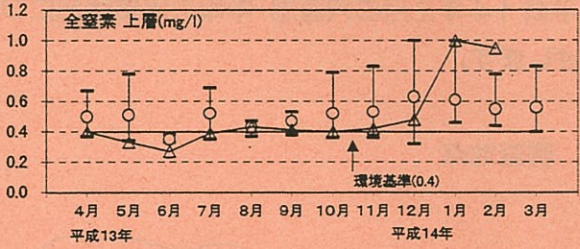
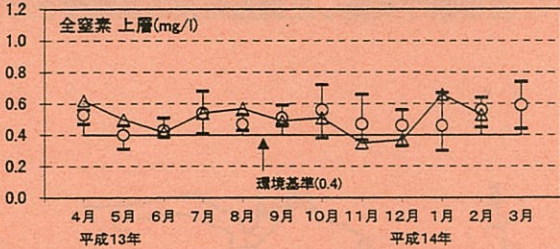
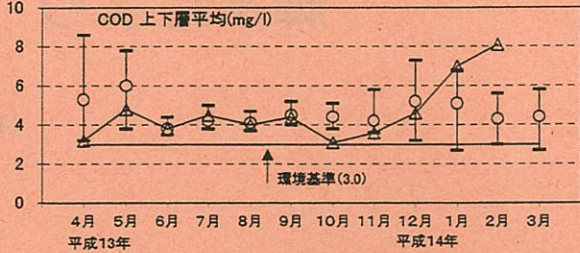
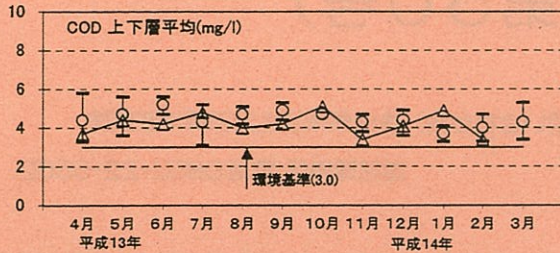
2. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間(平成8年度～12年度)の同月と比べると、COD及び全窒素は平均値より低く、全りんは最も高い濃度でした。
- (2) 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、COD、全窒素及び全りんのいずれの項目も最も高い濃度でした。また、中海における島根県域の調査時には、湖心付近で赤潮の発生が確認されました。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]*平成12年度平均	
			12月	1月	2月	12月	1月	2月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	℃	—	10.1	3.7	4.8	11.6	6.1	6.1	—	—
pH(上層)	—	6.5～8.5	7.9	8.1	8.0	8.7	8.9	8.9	—	—
COD(全層平均)	mg/l	3以下	4.1	4.9	3.4	4.6	7.0	8.1	4.5	4.9
SS(上層)	mg/l	5以下	4	13	6	6	22	15	5	8
DO(上層)	mg/l	7.5以上	11	12	13	12	12	14	9.9	10
DO(下層)	mg/l	7.5以上	10	12	12	<0.5	10	4.3	7.5	5.4
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.37	0.66	0.53	0.48	1.0	0.95	0.54	0.55
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.024	0.072	0.032	0.050	0.090	0.086	0.042	0.056
Cl(上層)	mg/l	—	1000	1000	740	6900	7800	5200	2800	9400
Cl(下層)	mg/l	—	1400	1100	750	15000	10000	8100	3400	13000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	12	24	11	18	84	54	22	31

*平成12年度公共用水域水質測定結果による。

T 過去5年間(平成8年度～平成12年度)の月別最大値
 ○ 過去5年間(平成8年度～平成12年度)の月別平均値
 □ 過去5年間(平成8年度～平成12年度)の月別最小値
 △ 平成13年度の測定値



突道湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 湖水の中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します。水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんとともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。全窒素とともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は18800mg/lです。